

案件化調査：農業分野

カンボジア 精米機製造・販売事業に基づくODA案件化調査

企業・サイト概要

- 提案企業：株式会社タイフ精機・株式会社日本開発政策研究所共同企業体
- 提案企業所在地：富山県・東京都
- サイト・C/P機関：国内の穀倉地域複数州、農林水産省（対農協支援）、鉱工業エネルギー省（対精米業者支援）

カンボジアの開発課題

- コメの国内生産量の約半分の余剰粳の近隣諸国への流出。（米産業の裾野を構成する農民は、収穫米を粳で安価に販売している。）
- 中小精米所の設備の老朽化
- 低品質のコメ

中小企業の技術・製品

- 長粒種米対応の小型精米機（1t/h：玄米ベース）で小規模事業者に適した製品
- 精米ロスの最小化（歩留まり率が高い）、商品価値の高い精白米の生産（砕米率が低い）が可能な技術
- 現地工場での5S指導や当日修理対応などのキメ細かいアフターサービス体制を整備

提案されたODA事業及び期待される効果

- 農協に精米施設を導入し、関係機関およびNGOの技術支援と組合せることにより、農協の精米事業モデルの確立と普及体制の構築に貢献する。また、中小精米業者の設備更新および技術強化を行うことで、精米の品質向上、中小精米業者の会計管理向上および所得向上に貢献する。
- 実地指導用のデモプラント導入を通じ、精米業者の精米プロセスの理解、精米技術、効率化の理解を促進を図る。

日本の中小企業のビジネス展開

- 中小精米業者の高性能精米機導入による成功モデルの確立が普及の促進に繋がる。
- 将来的な需要家層としての農協を育成することによる事業機会の増大。

